

第18回 放射線遮蔽設計規程検討会議事録

1. 開催日時：平成27年11月5日（木） 10：00～11：25
2. 開催場所：日本電気協会 4階 B会議室
3. 参加者（順不同，敬称略）
 - 出席委員：飯田主査（東京電力），村松副主査（三菱重工），天野（東北電力），伊藤（日本原電），木村（中国電力），田口（北陸電力），荒巻（関西電力），河合（中部電力），黒澤（東芝），田山（日立 GE），柳沢（電源開発）（計11名）
 - 欠席委員：大野（四国電力），吉野（北海道電力），中村（九州電力），柴田（富士電機）（計4名）
 - 事務局：永野，大村（日本電気協会）（計2名）
4. 配付資料
 - 資料 18-1 放射線遮蔽設計規程検討会 委員名簿
 - 資料 18-2 第17回放射線遮蔽設計規程検討会議事録（案）
 - 資料 18-3 原子力発電所放射線遮蔽設計規程 JEAC4615-20XX 改定の概要について（中間報告）
 - 資料 18-4 JEAC4615-20XX「放射線遮蔽設計規程」の改定案に対する分科会委員からのご意見・コメント整理表
 - 資料 18-5 「原子力発電所放射線遮蔽設計規程：JEAC 4615-20XX」新旧対比表
 - 資料 18-6 放射線遮蔽設計規程（チェック表）（4.3～4.5章） 中部電力
 - 資料 18-7 「原子力発電所放射線遮蔽設計規程：JEAC4615-20XX」新旧対比表 4.2項記載確認結果（電源開発）

5. 議事

(1) 会議定足数，配付資料及び前回議事録の確認

出席委員数は11名であり，検討会決議に必要な条件（委員総数(15名)の3分の2以上の出席）を満たしていることを確認した。

前回議事録案については正式議事録とすることを確認した。

(2) JEAC4615 原子力発電所放射線遮蔽設計規程の改定について

1) 分科会委員からのご意見・コメントへの対応及び分科会説明資料について

副主査より配付資料18-4及び18-5に基づき，JEAC4615-20XXの改定案に対する分科会委員からのご意見・コメントへの対応について説明があった。また，配付資料18-3に基づき，JEAC4615-20XXの改定案に対する分科会説明資料について説明があった。

【主な意見・質疑】

・コメントNo.3，No.8の修正分案は，修正文案の誤りでは。
→修正する。

- ・コメントNo.4の放射線業務従事者は、(P3/31) 1.1において「(以下「従事者」という。)」と定義したため、従事者と記載すれば良いのではないかと。
→修正する。
- ・コメントNo.17の解説 4-8は、解説 4-7の誤りではないかと。
→修正する。
- ・コメントNo.27のSPAN-SALBは、SPAN-SLABの誤りではないかと。
→修正する。
- ・コメントNo.27、貫通孔に関する計算は、新旧の両方のハンドブックを引用しているとなっているが、この説明で良いかと。
→検証は旧ハンドブックのみに記載されているが、計算式は新旧の両方のハンドブックに記載されているため、新旧ハンドブックとした。誤解を生じない様に「新・旧ハンドブックを引用する」に修正する。
- ・資料 18-3 P12の今後のスケジュール(案)において、原子力規格委員会への中間報告が記載されていないが、中間報告は行わないのか。
→11月10日の分科会事前説明の際、12月16日の原子力規格委員会への中間報告の件を相談し、その結果を受けて追記する。
- ・原子力規格委員会の中間報告でJEACの完本版は必要かと。
→中間報告では必要は無く、規格案の上程時に用意すれば良い。
- ・資料 18-3～18-5で11月10日分科会事前説明を行う。事前説明でコメントがあり、11月16日の分科会までに資料の修正が間に合わない場合は、分科会当日に再度コメントを頂く。

2) 「原子力発電所放射線遮蔽設計規程：JEAC4615-20XX」新旧対比表のチェック結果について 河合委員及び柳沢委員より配付資料 18-6及び18-7に基づき、チェック結果の説明があった。また、伊藤委員より主なチェック結果についての説明があった。なお、当該の箇所について資料 18-5に反映する。

① 河合委員のチェック結果

【主な意見・質疑】

特になし。

② 天野委員のチェック結果

【主な意見・質疑】

- ・(P6/31) 解説 3-2の現行欄で「および」の箇所は「さらに」の誤りではないかと。
→修正する。なお、規程全体を通して「さらに」と「更に」の表記が混在していたため、「更に」に統一した。
- ・(P6/31) 解説 3-2他において、現行欄の数字に全角文字と半角文字が混在している。実際に発行されているJEAC 4615-2008では半角文字となっている。数値の全角文字及び半角文字は、2008年版と同じにする必要はあるかと。

・2008年版の完本版データを基にして現行欄を作成しているが、全角文字及び半角文字のデータを統一するため、印刷の段階で変更が加えられていると思う。印刷のデータと完全に一致しているとは言えないため、修正は困難である。

→必ずしも同じにする必要は無い。規程全体で全角文字及び半角文字の統一が取れていれば良い。

→2016年4月1日に「核原料物質又は核燃料物質の精錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度を定める告示」が出される予定であるため、表記の修正が必要となる。これと併せて全角文字及び半角文字の統一も図る。

・(P7/31) 解説 3-3 において、「スカイシャイン線量は」の後に「,」を追記しているため、「,」を赤文字に修正しては。

→修正する。

③ 柳沢委員のチェック結果

【主な意見・質疑】

・(P11/31) 4.2.1 において、現行欄にあった「(解説 4-5)」の表記が消えている。

→修正する。また、これに関連して解説の関連箇所¹の表記が抜けている所は追記する。

(該当箇所：(P17/31) 4.4 b)…… 解説 4-7, (P17/31) 4.4 e)…… 解説 4-8, (P19/31) 4.5……解説 4-9, (P19/31) 4.5 b) ……解説 4-10)

・(P11/31) 4.2.1 解説 4-5 [BWR] e)において、緊急時制御室遮蔽及び緊急時対策所遮蔽は、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 別表第二の名称によるとなっているが、別表第二の名称は緊急時制御室、緊急時対策所である。緊急時制御室の遮蔽、緊急時対策所の遮蔽と言う意味に理解して良いのか。

→その通り。

・新旧対比表において、変更箇所²で赤文字になっていない箇所がある。また、これとは逆に変更してなくても赤文字になっている箇所がある。

→(P11/31) 4.2.1, 「1次」を「一次」, 「2次」を「二次」に変更した箇所は黒文字のままであるため、赤文字に修正する。また、「従事者」は変更の有無に関わらず全てを一旦赤文字にしたため、変更していない箇所を黒文字に戻す作業に一部漏れがあった。修正する。

・(P13/31) c) 「実用発電用原子炉及びその附属施設に関する技術基準を定める規則」は、「～附属施設の技術基準に関する規則」ではないか。

→修正する。

④ 伊藤委員のチェック結果

【主な説明】

・(P25/31) 5.3.3 に「遮蔽計算で ～ 例を以下に示す」という表記があるが、例示であるため本文にはなじまない。解説に記載する事項ではないか。

・(P26/31) 解説 5-6 a) 2), 実効線量は物理量ではないため、「評価する物理量」を「評価する量」等と表記を見直す必要がある。

・その他の確認結果については、各委員へメールで送付する。

2) 放射線管理分科会他の配布資料等について

放射線管理分科会、同事前説明及び原子力規格委員会の配布資料の修正等について、確認を行った。

【主な質疑】

- ・ 11月10日の放射線管理分科会 事前説明においては、今回のコメントをどこまで資料に反映すれば良いか。
→内容の変更を伴う修正はなかったため、解説の関連箇所の表記を追記すれば良い。
- ・ 配布資料の提出期限はいつか。
→11月6日までに提出して欲しい。
- ・ 11月16日の放射線管理分科会の配布資料は、事前説明のコメントを反映して修正する必要があるのか。
→大きな修正を伴うコメントが出なければ、事前説明の資料と同じもので構わない。なお、修正する必要があるコメントが出た場合は、修正して頂きたい。
- 分科会委員への配布資料の事前送付は、11月11日に行う。なお、資料の修正が必要な場合は、分科会の前日までに事務局送付して頂ければ、各委員へ送付する。
- ・ 12月16日の原子力規格委員会の配布資料は、放射線管理分科会のコメントを反映して修正する必要があるのか。
→状況報告ではなく中間報告であるため、コメントを反映して修正して頂きたい。なお、12月の1週目までに資料を頂けるとありがたい。
- ・ 分科会の配布資料に完本版は必要か。
→完本版は規格案の上程の際に必要となるが、中間報告では必要はない。
- ・ 規格を作成する際のチェック方法はあるか。
→「日本電気協会 原子力規格委員会 規格作成手引き」において、規則が定められている。
- ・ 印刷の際にデータの文字化け等は起こらないのか。
→印刷会社での文字化けを防ぐため、今回からは紙に出力した原稿を印刷会社に渡し、スキヤニングをして印刷することとした。

(3) その他

次回の検討会は、12月1日(火)PM又は12月2日(水)に日本電気協会会議室で開催することとなった。なお、欠席した委員のご都合を確認の上、最終的に決定する。

(確認の結果、12月2日(水)PM(日本電気協会C会議室)に開催することとなった。)

以上